

2学期始業式での校長あいさつ

皆さん、秋休みは充実したものになりましたか？

1・2年生の運動部の皆さんは新人大会でよく頑張ってくれました。今回はコロナの関係で校長先生方も他会場には行けなかったことから、皆さんの活躍を見に行けずに残念でしたが、各顧問の先生方からは皆さんの頑張りとお活躍の様子はうかがっていました。

今回の新人戦では、剣道部の皆さんが青葉区の男子団体戦で優勝しました。11月29日には、市の代表として県大会で戦うことになります。すばらしい成果です。剣道部の皆さんの勝利を全員で祝福したいと思います。剣道部の皆さんは、全員その場に起立してください。…皆さん拍手の用意はいいですか？…それでは、剣道部の皆さんに大きな拍手をお願いします。…ありがとうございました。剣道部の皆さんは、着席してください。…剣道部の皆さん本当に優勝おめでとうございました。

校長先生は、どの運動部の皆さんも、剣道部の皆さんと同じくらい努力していることをよく知っています。ですから、どの部の皆さんも優勝できる可能性があるということです。それは文化部の皆さんも同じです。

北仙台中学校にいい風が吹き始めました。この風に乗れ、皆さんの頑張りが成果としてどんどん表れてくることを校長先生は期待しています。皆さん、ぜひ、これからも努力を継続してくださいね。

また、今回の新人大会は、コロナ禍の中で行われた初めての公式戦でした。感染予防にも、皆さん十分に気を配り、ルールを守って行ってくださいましたね。ありがとうございました。

バスケットボールでも野球でも、初めてキャッチボールの練習を行うときは、その場に立ったままで行いますね、慣れてくると動きながら行うようになり、それを実践に生かしていきましょう。コロナ感染予防も同じなのだと思います。

これまで、皆さんは学校の中で感染予防の練習をしてきました。その練習の成果を応用して、初めて実践に生かしたのが3年生の修学旅行、2年生の野外活動、1年生の校外学習でした。…2学期になると、すぐに10月23日に運動会、10月30日には50周年記念行事があり、保護者の皆様を迎えたり、他の施設にバスで移動して活動することになります。また、皆さんのお家でも「GO TO トラベル」や「GO TO イート」を活用して出かけたり、お家にお客さんをお迎えするという機会があるかもしれません。そのような場面こそ、皆さんが日頃から学校で練習している感染予防の力を応用して実践する場なのです。ぜひ、意識して実践してほしいと思います。

皆さんは「ウィズ・コロナ」という言葉を聞いたことがありますか？直訳すれば、「コロナと共に、コロナと一緒に」ということになるのでしょうか。日本では、まずは病気との闘いという観点から緊急事態宣言が出されて、学校が休業になったり、飲食業や観光業が営業の自粛を促されました。しかし、今は、コロナとは闘いながらも、大打撃を受けたそのような業種をなんとか助けていこうという政策が始められました。これはこれで大切な考え方だと思います。

これから、私たちは、このような流れの中で上手に生活を行っていかねばなりません。だからこそ、感染予防の力を応用して実践していく必要があるのです。ですから、「目には見えないけど、確かにコロナがそこにあるのだな。」とまずその存在を認めること。「だから私は予防して行動する」という意識を強く持つこと、が大切です。これが、「ウィズ・コロナ」の考え方です。

この考え方を持って生活していくことが、これからの2学期は大切です。これから特に3年生は大切な時期を迎えます。コロナ禍での初めての受験となります。新人大会の前に校長先生は、「いざ試合となったらコロナなど忘れて全力で…」と話しました。受験も同じです。コロナを忘れて全力を出せるためには感染予防が日常の習慣になっていることが大切なのです。

インフルエンザには効果のある様々な薬がありますね。「コロナに対するそのような薬が、早く出てきてくれないかな」と心から思います。そのような薬ができるまで、皆さん、一緒に頑張っていきましょう。

以上で、校長からの話とします。皆さん、静かに聴いてくれてありがとうございました。